○　件名
　地理的表示メールマガジン第198号（令和6年1月17日）

○　文面

◇◇◇

（編集後記）GI産品のストーリー、ご存じですか？？
　GI産品は、各地の自然環境の中で、あるいは人々の取組により受け継がれてきたものですので、それぞれに興味深いストーリー（小ネタ？）が存在します。例えば、日本では、京から配流された崇徳上皇が京を懐かしんで作らせたことがルーツといわれる産品や、「古事記」や「風土記」といった歴史書でも言及のある産品、また、海外でも、「会議は踊る，されど進まず」で有名なウィーン会議において、余興として行われたチーズのナンバーワンを決めるコンテストで優勝した産品、産品名の語源がローマ語である産品、フェリペ２世に献上されていた産品など、歴史の授業を思い出すようです（G愛のあまり、語りすぎてしまいました。）。
　皆様も、GIマークのついた産品を手に取っていただいたら、ぜひぜひ、明細書をみてストーリーをチェックしていただき、小ネタとともに、周りの方々とお楽しみいただけたらうれしく思います＾＾
（M）

※編集後記は地理的表示（GI）担当職員の個人的な雑感を述べたものであり、農林水産省の見解を示すものではありません。

GIGIGIG